

令和 7 年度

第 2 回 柏市放課後子ども総合プラン運営委員会

# 会 議 資 料

令和 8 年 2 月 9 日

# 次 第

---

- 1 開 会
- 2 あいさつ（生涯学習部長）
- 3 報告事項  
アフタースクール事業の進捗状況について  
居場所型放課後子ども教室の実施状況について
- 4 協議事項  
アフタースクール事業評価項目及び基準について
- 5 閉会

## 柏市放課後子ども総合プラン運営委員名簿

所 属	氏 名 ※敬称略・五十音順
酒井根中学校区 学校運営協議会 会長	五味田 博 美
柏市PTA連絡協議会 副会長	木 村 能 芙 子
かしわ子育てまちづくりネットワーク ここっと	佐 藤 秀 太
開智国際大学 教育学部教育学科 教授	土 井 雅 弘
柏市立高柳小学校 校長	福 田 美 和
柏市青少年相談員連絡協議会	山 口 恵 美

## 柏市放課後子ども総合プラン運営委員会事務局名簿

所 属 (機構順)	氏 名
こども部長	依 田 森 一
生涯学習部長	宮 本 さなえ
生涯学習部 生涯学習課長	田 中 義 通
生涯学習部 アフタースクール課長	田 所 英 樹
学校教育部次長兼 学校教育課長	原 竜太郎
その他各課担当職員	

## 目 次

---

### 報告事項

- (1)アフタースクール事業の進捗状況について・・・・・・・・・・ 5
- (2)居場所型放課後子ども教室の実施状況について・・・・・・・・ 9

### 協議事項

- アフタースクール事業評価項目及び基準について・・・・・・・・ 11

### 3. 報告事項

#### (1) アフタースクール事業の進捗状況について

##### ア こどもルーム指導員を対象とした個別面談

事業者説明会后、今後の勤務形態の希望等を相談する場として、事業者とこどもルーム指導員の個別面談を以下のとおり実施した。

期間：令和7年10月21日～11月28日

会場：アフタースクール事業対象校のこどもルームなど

対象ルームの指導員数：241名

面談実施指導員数：延べ235名（対象外ルームの指導員5名含む）

##### イ 放課後子ども教室のボランティアへの事業説明

アフタースクール事業対象校のステップアップ学習会終了後にアフタースクール課の担当職員が訪問し、事業概要の説明と次年度意向調査の配布、事業者との個別面談の案内を実施した。

期間：令和7年11月5日～28日

会場：アフタースクール事業対象校のステップアップ学習会控室など

##### ウ 放課後子ども教室のボランティアを対象とした個別面談

上記イの後、こどもルーム指導員と同様に今後の勤務形態の希望等を相談する場として、事業者とボランティアの個別面談を以下のとおり実施した。

時期：令和7年12月1日～5日

会場：柏市役所本庁舎分室1

対象ボランティア数：172名

面談実施ボランティア数：延べ77名

## エ 保護者向け事業説明会の実施

日程	時間	会場	説明事業者	参加人数
令和8年1月18日(日)	11:00-12:30	BeARIKA	株明日葉	66
	13:00-14:30	BeARIKA	株明日葉	23
	15:00-16:30	BeARIKA	シダックス大新東ヒューマンサービス(株)	95
	17:00-18:30	BeARIKA	シダックス大新東ヒューマンサービス(株)	8
令和8年1月24日(土)	10:00-11:30	県民プラザ(柏の葉)	株明日葉	87
	13:00-14:30	県民プラザ(柏の葉)	株明日葉	76
	15:00-16:30	県民プラザ(柏の葉)	株明日葉	32
	10:00-11:30	沼南庁舎5階大会議室	シダックス大新東ヒューマンサービス(株)	86
令和8年1月25日(日)	10:00-11:30	県民プラザ(柏の葉) ホール	株明日葉	44
	13:00-14:30	県民プラザ(柏の葉) ホール	シダックス大新東ヒューマンサービス(株)	14
令和8年1月31日(土)	11:00-12:30	BeARIKA	株明日葉	91
	14:00-15:30	BeARIKA	シダックス大新東ヒューマンサービス(株)	89
	16:00-17:30	BeARIKA	シダックス大新東ヒューマンサービス(株)	66
	18:00-19:30	BeARIKA	シダックス大新東ヒューマンサービス(株)	15
合計				792

## オ 令和8年4月1日からの利用申請開始

1次募集 令和7年11月10日～12月20日

2次募集 令和8年2月1日～10日

※上記エの説明会を受けて、新たに利用を希望した方向けの募集

R8.4.1アフタースクール利用申請審査結果(R8.1.31時点)

No	AS名	Aプラン						Bプラン						Cプラン						A利用 合計数	B利用 合計数	C利用 合計数	合計 児童数
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	4年	5年	6年				
1	酒井根東小	8	12	10	2	3	0	3	5	6	3	1	0	18	14	11	1	1	0	35	18	45	98
2	柏五小	19	5	14	5	3	0	21	28	21	11	1	0	42	44	22	6	0	0	46	82	114	242
3	富勢小	9	8	7	5	4	1	15	14	9	5	1	0	26	31	12	20	1	1	34	44	91	169
4	柏三小	12	20	15	14	7	3	16	27	17	19	5	1	63	58	34	14	1	0	71	85	170	326
5	旭小	14	10	12	6	0	0	3	12	15	7	6	1	29	20	22	8	1	0	42	44	80	166
6	酒井根小	9	8	6	1	1	0	8	9	15	4	0	0	31	20	14	11	3	0	25	36	79	140
7	土南部小	4	8	5	2	0	0	11	10	5	3	1	0	20	18	12	7	4	1	19	30	62	111
8	松葉二小	12	8	12	3	2	2	17	12	11	2	0	0	26	24	25	2	1	1	39	42	79	160
9	光ヶ丘小	12	10	11	14	2	5	17	29	11	22	3	1	48	36	30	7	2	0	54	83	123	260
10	柏四小	8	12	6	9	3	1	20	13	11	5	3	0	26	20	21	8	2	0	39	52	77	168
11	田中小	17	16	18	7	2	1	29	23	25	8	6	0	63	64	26	18	5	0	61	91	176	328
12	土小	9	9	5	5	2	1	16	12	11	7	2	0	24	15	15	4	1	0	31	48	59	138
13	柏八小	8	3	7	4	1	0	5	13	9	4	1	0	24	28	17	4	7	0	23	32	80	135
14	名戸ヶ谷小	8	5	10	7	2	0	10	11	11	5	7	1	23	17	23	11	0	1	32	45	75	152
15	大津ヶ丘一小	5	4	3	1	5	1	7	11	4	6	0	0	10	9	7	4	3	0	19	28	33	80
16	高柳小	8	9	5	8	4	0	19	18	13	5	1	0	36	31	36	11	0	0	34	56	114	204
17	高柳西小	4	2	2	1	0	0	4	4	4	2	2	0	13	5	10	6	1	0	9	16	35	60
18	豊小	6	8	8	6	2	0	15	15	12	9	3	0	33	18	17	5	2	0	30	54	75	159
19	松葉一小	12	14	11	9	3	0	10	9	11	7	1	0	20	34	16	11	1	0	49	38	82	169
20	田中北小	29	29	22	18	4	2	45	47	33	26	2	1	96	87	58	22	1	1	104	154	265	523
合計		213	200	189	127	50	17	291	322	254	160	46	5	671	593	428	180	37	5	796	1,078	1,914	3,788

## カ 学校協議開始

1月上旬より各学校を訪問し、三者で上記オの利用登録者数に応じた借用教室等を協議中。

### ◆ 課題 ◆

- ・ 特別教室等が6時間目まで授業がある場合の低学年の活動場所確保
- ・ 教職員の放課後の業務に配慮した動線の切り分け
- ・ 登録児童者数に応じた荷物置き場や下駄箱の確保

## キ プログラム内容

### 月毎の実施スケジュール（例）

月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6
体験PG バルーンアート		体験PG クラフトワーク	体験PG ドッチボール教室	継続PG プログラミング①	
8	9	10	11	12	13
体験PG 壁面工作	体験PG 読み聞かせ	体験PG 昔遊び		継続PG ダンス教室①	
15	16	17	18	19	20
体験PG サッカー教室	体験PG レゴ教室		体験PG 紙飛行機大会	継続PG プログラミング②	
22	23	24	25	26	27
体験PG ねふた囃子		体験PG バスケットボール教室	体験PG 科学実験	継続PG ダンス教室②	
29	30				
避難訓練	体験PG 手話体験				

体験プログラム・・・1回完結型の内容

継続プログラム・・・継続して複数回実施し、段階的に学びを深める内容

## ク 今後の流れ

### ①合意書の締結

協議の結果を踏まえて、使用施設や使用上のルール等を書面に残し、学校・運営事業者・アフタースクール課で共有する。

今後内容に変更が生じれば、随時更新していく。

### ②利用前説明会の実施

運営事業者が主体となり、それぞれの学校に特化した内容でアフタースクール利用の留意点等を説明するもの。

時期：令和8年2月28日～3月21日の土日祝日

会場：アフタースクール事業対象校の体育館

対象：4月1日から利用登録が決定された児童の保護者（全学年）

内容：各学校における活動場所

利用上の留意点

児童票の回収等

### 3. 報告事項

#### (2) 居場所型放課後子ども教室の実施状況 ※R8.1.27 時点

##### ア 開設日

令和7年4月11日から令和8年1月27日の間で136日

##### イ 児童の参加状況 ※1年生は5月19日から参加開始

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
登録児童数	82人	66人	69人	57人	32人	21人	327人
参加児童数 (延べ)	2,314人	1,323人	721人	332人	27人	4人	5,756人

1日の最高参加人数75人

##### ウ 体験プログラムの実施状況

###### A) 実施回数

24回

###### B) 実施内容

5/1	紙ひこうき大会	柏市	9/25	工作教室	サポーター
5/8	ねぶた囃子	地域団体	10/2	ねぶた囃子	地域団体
5/15	ワークショップ	柏市	10/9	工作教室	サポーター
5/22	あそびの博士になろう	地域団体	10/16	体育館スポーツフェス	地域団体
5/29	あそびの博士になろう	地域団体	10/30	体育館スポーツフェス	地域団体
6/5	紙ひこうき大会	柏市	11/6	勾玉づくり教室	千葉県
6/12	バスケットボール教室	地域団体	11/20	工作教室	サポーター
6/26	バスケットボール教室	地域団体	11/27	バスケットボール教室	地域団体
7/10	かるた教室	地域団体	12/11	バスケットボール教室	地域団体
7/17	かるた教室	地域団体	12/18	バスケットボール教室	地域団体
9/4	防災安全教室	柏市	1/15	タッチラグビー	民間企業
9/11	工作教室	サポーター	1/22	工作教室	サポーター

### C) 体験プログラムの児童の参加状況

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
参加児童数 (延べ)	184名	116名	85名	42名	14名	0名	441名



バスケットボール教室



タッチラグビー

### E サポーター（見守りボランティア）

現在アフタースクール課の担当コーディネーター3名，サポーター13名がシフト制で活動している。

### オ 成果と課題

成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 当初と比較し，他学年の児童同士の交流が増えている。</li> <li>● 学校や地域が協力的なため事業が円滑に運営された。</li> <li>● こどもルーム（学童）に通う児童も利用しているため，広い範囲で交流できる。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 利用児童が固定化している。</li> <li>● 空き教室を利用しているが，1日あたり35人を超える日が多く，安全確保が課題となっている。</li> <li>● マニュアルでは対応が困難な事案があり，見直しが必要である。</li> </ul>

## 4 協議事項

### アフタースクール事業評価項目及び基準について

#### (1) 評価の位置づけ

本評価はアフタースクール事業を実施するにあたり外部有識者の意見を取り入れ、児童によりよい放課後の居場所を提供するために行うものである。評価の対象は、ハード面ではなくソフト面を中心とし、各委員にはそれぞれの立場から客観的な数値化されたデータに基づく評価よりも児童の健全な育成という主観的な視点から目指すべき居場所になっているかを評価いただきたい。

評価の結果は翌年度の事業計画に反映されるように市から事業者に伝える。

#### (2) 評価項目・評価基準（案）

評価項目	評価基準
運営姿勢	本事業の趣旨を理解して運営しているか
	個人情報について適切に管理されているか
	業務の効率化に向けた取り組みがなされているか
実施体制	指揮命令系統が適切に整備され、円滑な運営ができているか
	定期的に業務を実施するために必要な知識を習得する為の研修（サービス規律、倫理・コンプライアンス、個人情報保護等）を実施しているか
	職員が働きやすい環境が整えられているか
児童の育成	職員は適正人数配置されているか
	障害のある児童や特別な支援を必要とする児童に対して、職員がついているか
	児童の発達段階に応じた職員の接し方がなされているか
	児童が教室等を移動する際、安全に配慮されているか
	児童の体調不良等に対する対応は職員に周知され、マニュアル化されているか
関係者との連携	学校と定期的に児童や運営状況について情報共有しているか
	地域人材の参画を促すような取り組みが行われているか
	保護者や児童に適切なタイミングで情報共有されているか

危機管理	児童の事故や怪我を未然に防止するために設備・用具等の整理整頓がされているか
	災害発生時の対応はマニュアル化され、職員に周知されているか
プログラム	プログラム内容は児童の育成に適正か
	プログラムの頻度は適正か
	プログラムについて地域人材を活用しているか
	プログラム内容について分野の偏りがいないか
自由記述欄	

※網掛け部分については、施設見学だけでは評価が困難であると考えするため、事務局側からの報告書や事業者からの資料も加味して評価いただきたいと考える。

### (3) 評価の項目・評価基準

評価方法は、A・B・Cの3段階で評価

A	期待を上回る状態である。
B	期待どおりである。
C	期待を下回る状態である。

### (4) 次年度のスケジュールについて

8月頃	第1回懇談会実施 午前：施設見学（各事業者1校ずつ） 午後：庁舎にて評価及び感想 ※1日で行う。
12月～1月頃	第2回懇談会実施 前回の評価結果の公表とそれに対する意見 事業者による利用者へのアンケート結果の公表